



●新年のご挨拶

(財)名古屋市工業技術振興協会

会長 遠山 昌夫

新年あけましておめでとうございます。

賛助員の皆様には日頃から当協会の運営にあたりご理解とご助力をいただき、誠に有り難うございます。

おかげさまで協会は本年、創立25周年を迎えることになりました。これもひとえに名古屋市を始め、協会の役員、賛助員の皆様方のご支援のたまものと深く感謝申し上げます。

さて、景気は昨年の後半から輸出や設備投資などの持ち直しから回復傾向がみられますが、消費や雇用情勢などには依然として厳しいものがあります。そんな中で、名古屋地域にはビッグプロジェクトが急ピッチで進んでおり、特に期待されるのが、来年2月開港をめざす中部国際空港です。24時間運用ができ、国際線と国内線が完全一元化し乗り継ぎが便利になるなど新空港ならではの特色がみられますが、注目したいのは航空貨物です。新聞によりますと、中部地方の航空貨物の需要は50数万トン、新空港の初年度目標は27万トン（名古屋空港の14年国際貨物の約2倍）と言われております。これまで成田や関空に大きく依存していた貨物の大半が中部国際空港を経由することによって輸出関連製造業はもちろん、運輸通信業やサービス業にもビジネスチャンス

が生まれ経済が活性化されます。中部国際空港によって、産業をバックアップする体制が一層強化され、名古屋地域が全国をリードしていくことが期待されます。

我が国の経営は、これまで当面の利益のためのコストダウンやリストラが行われてきましたが、ここへきて技術力や開発力が企業の将来を左右すると強く言われるようになってきました。経営が苦しい時にも技術開発を地道にねばり強く続けることが重要です。継続は力です。これからのモノづくりは、独自性のあるもの、付加価値の高いものにシフトする必要があります。

しかも感性を生かしたデザインも求められます。名古屋地域というのは申すまでもなく、日本の工業技術の中心地であり、これからも力強く発展していくだけの底力を持っております。名古屋地域の新製品・新技術が新空港から世界に発信されることが待たれるところです。モノづくりに携わる企業人として、心を新たにしてお互いに日本の工業技術の発展のために頑張っていきたいと思っております。

最後に、当協会の力強い発展のために、旧来にもまして皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。